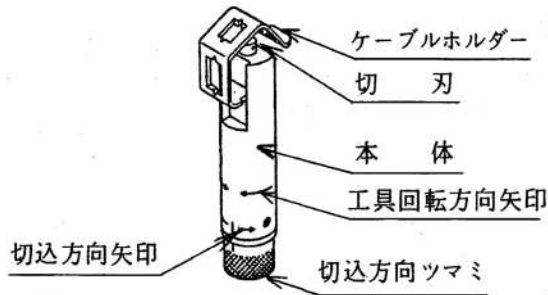


ケーブル外導剥取工具

SAS 株式会社 三英社製作所

適用サイズ	
6600V CV、6600V CVT	22 mm ² ~ 325 mm ²

1. 工具各部の名称



2. 取扱い手順

⚠ 切刃部のねじがゆるみ切刃が回転する状態では、被覆を切ることが出来ないことがありますので、切刃部のねじゆるみのないことを確認して下さい。

- (1) 切込方向つまみを中央位置へセットして下さい。(図-1)
- (2) ケーブルホルダーを左手で引き上げ、右手親指にて支持して下さい。
- (3) ケーブルホルダーを支持した状態でケーブルへ工具を挿入します。(図-2)
- 〔挿入位置は切断部〕
- (4) 支持した親指をはなし、ゆっくり切刃をケーブルに接触させます。〔この時工具を引きながら行くと良いです。〕
- (5) 工具本体を軽く持、手前から上方へ工具を回転させます。(図-3)
- 〔工具回転方向矢印の方向へゆっくり回す。〕
- (6) ケーブルホルダーのぞき窓より、切込線を溝に合わせながら、切り始めと切り終りが一致する様工具を移動し、輪切りを完了させます。(図-4)
- (7) 輪切りが終了したら工具回転を停止し、切込方向つまみをケーブル端末側にセットして下さい。(図-5)
- 〔つまみは中央より15°動きストップします。〕
- (8) (5)と同様にして、工具回転方向矢印方向へ工具をゆっくり回転させます。(図-6)
- 〔この時工具は、切込矢印方向へ自然に移動しますので、手で無理に移動しようとししないで下さい。〕
- (9) (8)の状態でケーブル端末までらせん切りを行います。
- (10) らせん切りを行った被覆端末にナイフを差し込み、被覆を引き起します。(図-7)
- (11) 引き起した端末をつまみ、被覆をゆっくりと取り除きます。(図-8)
- (12) 切り刃の切れ味が悪くなりましたら、切り刃部のネジをゆるめ、新しい刃の位置に回転させて下さい。

図-1



図-2



図-3

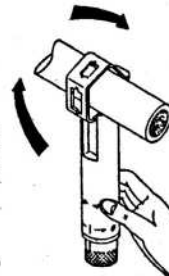


図-4

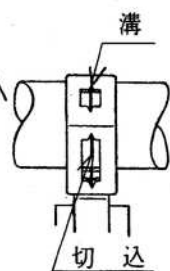


図-5

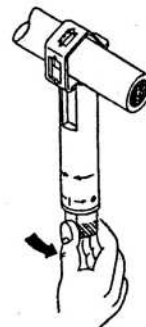


図-6

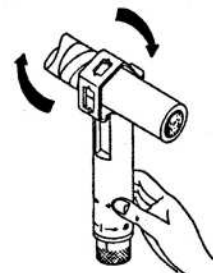


図-7

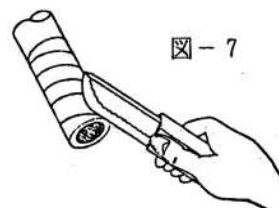


図-8

